

# 那珂湊歴史探訪

**③ みなと観光ホテル**  
029-262-4118



那珂湊漁港前に建つ和風旅館。朝の水揚げ風景やおさかな市場での買い物も楽しめる。とれたて海の幸を味わえる入浴付き昼食プランもご用意。

**④ 春日ホテル**  
029-262-3164



「レストラン浜辺」では那珂湊の四季折々の地魚料理を堪能できる。料理といっしょに味わえるソムリエ厳選の世界のワインも楽しみのひとつ。

**⑤ 藤屋ホテル**  
029-262-4141



湊公園のたもとに位置し、海と歴史の香りに包まれた憩いの宿。市場直送の新鮮な魚料理が自慢で、研修やスポーツ合宿にも利用可能。

**⑥ 松屋旅館**  
029-262-4173



嘉永3年創業の老舗宿。落ち着いた家庭的な宿で、ご年配の方も安心して滞在できるよう工夫。人に優しい思いやりの宿。

**⑦ 旅館いずみ荘**  
029-262-3315



飾らない我が家のような雰囲気の魅力の宿。のんびりとした町の中に溶け込んで、地元の住民になったように寛げる。

**⑧ ひたちなか海浜鉄道**



大正2年開業の湊鉄道時代から立つ那珂湊駅。瓦屋根がシンボルのレトロ感たようローカル線駅舎。駅や沿線風景に似合う旧型のディーゼルカーも人気。

**⑨ まちかど博物館(明石屋)**



明治4年創業。住居部分は明治時代、店舗部分は大正初期の建築。店舗にはうちわやカレンダーが並び、明治から大正にかけて制作された銅版画や木版画を所蔵。

**⑩ 山上門**



市指定有形文化財。もと水戸藩小石川屋敷(東京都文京区)の正門脇に、勅使奉迎のための門として建築されたものを当地に移築。

**⑪ 反射炉跡**



高熱で大量の鉄を溶解する反射炉。徳川斉昭のもと大砲製造のため1854(安政元)年~1857(安政4)年にかけて2炉建設された。元治甲子の乱で破壊され昭和12年に復元。

**⑫ まちかど博物館(稲葉屋)**



明治20年頃創業の昔ながらの菓子屋。黒砂糖を使った手作り黒飴「反射炉の鉄砲玉」が人気。

**⑬ 華蔵院**



江戸時代から近隣の人々の信仰を集めている寺で、院内には薬師堂、観音堂、任王門などが漂と立つ。本堂裏の龍華園も見事。県指定工芸品にもなっている梵鐘は1339年鑄造とされ大変貴重なもの。

**⑭ 湊公園・湊御殿の松**



水戸藩2代藩主徳川光圀の別荘跡。建物は元治甲子の乱(1864)で焼失されたが、今は海を眼下に見渡す風光明媚な公園として親しまれている。公園内には光圀が須磨明石から移植した樹齢300年以上の見事な黒松(市指定天然記念物)が生育。

**⑮ 天満宮**



那珂湊天満宮の由来は、今から700年ほど前に遡る。海上から菅原道真公の神霊が、現在の和町付近に降り立ったと伝えられる。毎年8月に行われる御祭礼(八朔祭)は華麗で見所多彩。

**⑯ まちかど博物館(あさ川)**



地元の銘菓が揃う和菓子店。明治中期に建てられた店舗・住居は趣きがあり、足を踏み入れた途端、昔にタイムスリップしたよう。

**⑰ おさかな市場**



新鮮でおいしい魚介が味わえる、茨城を代表する観光スポット。那珂湊漁港に水揚げされた魚や海産物の量販店が並び、お食事処も揃う。

